

BOAT TIMES

桑野造船株式会社

〒520-0357 大津市山百合の丘10-1

TEL : 077-598-8090 FAX : 077-598-2505

URL : <http://www.k-boat.co.jp>E-mail : kuwano@k-boat.co.jp

9/24・25、琵琶湖で第1回「BIWAKO湖フェス」が開かれました。琵琶湖RC、日本財団共催、KBS京都運営、障がい者を含め誰でもウェルカムなボート、カヌーなどの体験会です。瀬田漕艇倶楽部、瀬田工、大津高、膳所高ボート部も協力、桑野も艇搬送・安全管理などお手伝い。三日月滋賀県知事もナックルを漕がれ、障がいを持たれた方にもボートを楽しんでいただきました。高齢のご夫妻も来場されておそらく人生初ボート、私のほうが感動しました。Sports For All とよく耳にしますが、特に水上スポーツは、初心者、障がい者、ご高齢者にとってなかなか気軽に、さあやってみよう！というは敷居が高すぎるかもしれません。ぜひ色々な人が水上スポーツを楽しむ機会を増やしていきたいものです。【小澤】



●リガーボルトが抜けない!?

3点式リガーは、ガンネル（舷側）に「リガーボルト」で固定していますね。固定方法は、メーカー・艇（年代）によって少し異なります。船体側のリガーを支える「リガーフレーム」は大抵、下部で厚く上端で薄くなっており、これはガンネル外面とリガーフレーム内面が平行でないことを意味します。リガーボルト自体はガンネル外面に対し鉛直でなければならないのですが、ここで2つの構造に分かれます。まずはガンネル外面に対して鉛直に孔があいているもの。この場合は当然、リガーフレーム内面に対しては孔が斜めにあいているので、リガーボルトの「頭部だけ」を曲げるか、または「リガーボルト用ブッシュ」（桑野オンラインパーツショップでwd730参照）で8°とか15°とか、傾斜を補正するもので、桑野艇やWintech艇ではこの構造を採用しております。もう一つは、リガーフレーム内面に対して鉛直に孔をあけているものです。この場合、今度はハル外面に対して孔が斜めになるので、リガーボルトを通した後（ガンネル外に出たところを）鉛直になるように曲げることになります。この構造はエンパッハ等に見られます。この場合、リガーボルトが使用中に回転してしまうと、変な方向に酷く曲がっているように見えますが、正しい位置に回転させれば鉛直になります。このタイプのリガーボルトを交換する場合は、ボルトを「正しくまっすぐになるように」（=見かけはハル外面に対して斜めに）曲げ戻してからでないと簡単には抜けません。蛇足ですが、リガーを組むときにナットを締め込みすぎると、リガーフレームを变形させたり、上述の「リガーボルト用ブッシュ」（プラスチック製）を破損させてしまったりします。「もっと丈夫なブッシュを！」と思われるかもしれませんが、実はある意味このブッシュは、リガーフレーム本体を損傷しないための「交換可能な安全弁」的な側面もあるわけです。たかがリガーボルト、されどリガーボルト。正しく構造を知って、正しく取り扱しましょう。【小澤】

●カヌーフリースタイル艇試作

今年の始めにご縁があって株式会社ウルトラCの安藤太郎さん（シドニーオリンピック カヌースラローム代表選手）からフリースタイル艇のハルとデッキの型と、スラローム用のコーミング（コックピット周りの部材）及びシートの型を譲って頂きました。せっかく頂いた型ですのでなんとか形にしてみようと、7月下旬から試作を開始し9月上旬に艇体として完成させました。中旬には愛知県の矢作川と岐阜県の揖斐川で試乗会を行い、乗ってくださった皆さんから色々なご指摘・ご提案を頂いております。今後もレース会場でこの艇をお見掛けになりましたらお気軽にご試乗ください。（渡邊）



【試作艇第1号】

●お知らせ

◇出店情報

- ・いわて国体ボート競技（田瀬湖）：10/6（木）～9（日）開催期間中
- ・全日本選手権（戸田）：11/10（木）～13（日）開催期間中

※全日本選手権ではパーツ販売の他に、艇の修理、メンテナンスも対応可能です。また、事前にパーツのご発注や修理依頼をご連絡頂けますと、より円滑な対応が可能です。特にシューズ等の大きいパーツは、数に限りが御座いますので予めお問い合わせ下さい。

BOAT TIMESの配信停止を希望される方は、お手数ですがFAX(077-598-2505)またはE-mail(kuwano@k-boat.co.jp)で弊社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。